



■会長挨拶 田中信彦君

新型コロナウイルスによる県独自の感染警戒レベル4以上が続き、当クラブ例会開催基準に則り、例会を中止せざるを得ない状況が続いた訳ですが、4月5日開催の理事役員会においてワクチンの接種率等を考慮し今後については警戒レベル5以上を中止とし、レベル4以下は開催としました。ところが先日医療の逼迫状況に重点を置いたレベル分類を導入したことにより諏訪地域も突然レベル3となりました。5月も今日一日となってしまうましたが今日は青少年奉仕月間、担当は会員拡大委員会です。委員会の皆さんよろしくお願い致します。2020年5月、全国的に緊急事態宣言が発令され2年あまりがたちました。日常生活に定着したマスクですが海外では着用義務が撤廃される国もある中、国内では大勢の人がつける光景が変わっていません。これから夏に向かう中、熱中症やコミュニケーションの障害になることへの懸念から、どんな場面で外せるかを政府が発信すべきだと指摘する専門家もいるようです。通信会社「プラネット」(東京)が今年2月に4000人を対象に実施したインターネット調査の結果は、マスクがすっかり定着したことを物語るように、新型コロナの流行が収まった後もマスクを「つけたい」と回答した人は36%を占め、「感情や表情を悟られにくくなり、少し気が楽になった」「素顔を見せるのが恥ずかしい」などを理由に挙げた。長期化するマスク生活によって多くの不都合も生じている様です。大阪府豊中市の中学校では、口元を覆うマスク姿ではお互いの名前が覚えられないとして全校生徒約1000人に名札の着用を義務づけたそうです。子供の心や脳の発達に詳しい京都大教授はマスク生活が乳幼児の発達に与える影響を危惧する。「マスクで顔を隠すことで、赤ちゃんが表情や口元の動きを見てまね、言葉を獲得する機会が奪われている」と考えるからだ。「乳幼児と接する時には、直接身体を触れ合わせたり、マスクを外して表情豊かに意思疎通したりといったことを意識する必要がある」と訴える。「マスク好き」の国民性で、それが欧米のような感染を抑えた可能性があるとはいえ、もはや思考停止にも見える。誰もいない公園でもマスク、ひとりでドライブ中でもマスク、同調圧力のとりわけ強い日本。そろそろ突っ込んだ議論を始めないと節目を見失い、マスクをしていなかった顔を忘れそうです。2021年度もあと1か月、来月が最終月となりました。なんとか事業計画通り進めて行きたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。



■理事会報告・幹事報告 大蔵貴順君

- 本日の例会は、藤森和彦君の会員卓話です。
- 5月のロータリーレートは1ドル 130 円です。
- 6月5日(日)に開催の「諏訪 RC 創立 65 周年記念式典」に会長、幹事が出席します。
- 6月19日(日)に開催の「新旧合同会長・地区チーム会議」に会長、会長エレクトが出席します。
- 5月17日に第1回創立30周年記念事業委員会を開催され、令和5年3月12日(日)午後1時よりホテル紅やに於いて記念式典の開催を決定しました。
- 6月例会プログラム・行事予定(クラブ管理運営委員会)

6月07日(火) 通常例会	1年を振り返って各委員長報告	第15回理事役員会
6月14日(火) 通常例会	1年を振り返って各委員長報告・新旧委員会の引継ぎ	
6月21日(火) 家族に感謝例会	さよならパーティー(ホテル紅や)	

■出席報告・ニコニコBOX 出席 20 名 (60.6%) ニコニコ BOX13 名より 41,000 円

■今月の誕生日 飯田昭雄君 小林東君 代田公廣君

■今月の結婚記念日 石田宗義君 伊藤清隆君 小松郁俊君 小松賢三君

矢ヶ崎能充君 牛山豊明

■次年度 2600 地区役員の委嘱伝達

地区 会員拡大委員 大石壮太郎君

地区 社会奉仕委員 五十嵐幹夫君

■表彰

ポール・ハリス・フェロー表彰 数納孝君 1 回目

眞道洋一君 6 回目

米山功労者表彰 眞道洋一君 6 回目

小笠原弘三君 2 回目

■例会プログラム 会員卓話 藤森和彦君「クラブ IT 化への講義(後編)」

大社 RC を含め RC 関連のホームページは一方通行の情報提供が多く、欲しい情報が探しにくい。特に過去の情報を取得した場合、とても不便。

会員間での情報共有が出来ていない点について「LINE WORKS」の導入を提案。無償で利用でき、個人の SNS アカウントを利用しないため安心して利用できる。オンラインの例会も含め次年度よりテスト的に導入を検討していく。

今後は、過去の情報を誰もが簡単に取得できる仕組み作りについても提案。

